

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社あかつき本社 上場取引所 東
コード番号 8737 URL https://www.akatsuki-fg.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山田 孝樹 TEL 03-6821-0606
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	25,730	20.3	10,332	11.8	1,491	△1.3	1,470	△20.6	990	△20.3
2024年3月期中間期	21,392	33.3	9,237	31.8	1,511	348.3	1,851	600.4	1,242	693.7

(参考) 税金等調整前当期純利益 2025年3月期中間期 1,470百万円 (△19.8%) 2024年3月期中間期 1,833百万円 (596.0%)

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 987百万円 (△20.7%) 2024年3月期中間期 1,246百万円 (767.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.48	—
2024年3月期中間期	40.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	91,600	17,608	18.2	549.61
2024年3月期	92,130	16,749	17.5	528.99

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 16,635百万円 2024年3月期 16,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	9.50	—	11.50	21.00
2025年3月期	—	11.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2025年3月期の期末配当予想は、現時点で11.0円でございます。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	11.4	4,100	19.9	4,200	10.1	2,600	2.4	85.24

※参考情報として「税金等調整前当期純利益連結業績予想」も開示します。

税金等調整前当期純利益：4,200百万円（対前期増減率：11.4%）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）一、除外 3社（社名）トレード・サイエンス株式会社、合同会社おうぎ、合同会社ふたば

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は添付資料「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	34,029,544株	2024年3月期	34,029,544株
2025年3月期中間期	3,761,283株	2024年3月期	3,525,925株
2025年3月期中間期	30,493,551株	2024年3月期中間期	30,773,574株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、BBT信託口が所有しております当社株式を含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) キャッシュ・フローの状況	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)において、連結業績は証券セグメントの受入手数料、及び不動産セグメントの販売戸数が順調に増加し、営業収益は前年同期比で20.3%増となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、前期に計上した投資事業組合運用益と高齢者施設の売却益を除くと増益となりました。

当社グループの当中間連結会計期間の連結業績は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	増減率
営業収益	21,392	25,730	20.3%
営業利益	1,511	1,491	△1.3%
経常利益	1,851	1,470	△20.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,242	990	△20.3%

① 証券関連事業

あかつき証券㈱では、金融商品仲介（IFA）ビジネスの拡大、及び金融機関とのアライアンスの強化を戦略的に進めています。

IFAビジネスでは、提携IFAに対する人的サポート体制の充実を軸に、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを通じた事業基盤強化に努めています。システム面では、昨年6月にリリースした「外国債券売買システム」に関し、本年9月より円貨決済機能を追加し、外国債券取引の利便性向上に寄与しました。商品面では、新NISA制度の対象銘柄を中心に国内投資信託の取扱本数を647銘柄まで増加させ、併せて外国投資信託の取扱いを拡充し、多様化する商品ニーズに対応しました。また、米国国債や外貨建て事業債の最低購入価額の引下げにより、顧客の投資機会の拡大に努めました。

金融機関等とのアライアンスについては、5月に子会社のジャパンウェルスイアアドバイザーズ㈱（金融商品仲介業者）（以下「JWA」という。）において、日本生命グループの株式会社ほけんの110番と業務提携を行いました。今後も金融機関等とのアライアンスの強化を推進し、顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大を進めてまいります。

結果として2024年9月末の契約仲介業者外務員数は1,844名（2024年3月末比166名増）、子会社のJWAの提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は5,897億円（同321億円増）、IFA部門の預り資産残高は3,503億円（同364億円増）と拡大しました。

業績面では、受入手数料、トレーディング損益が共に拡大し増収となり、セグメント利益は前年同期並となりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	増減率
営業収益	6,808	7,625	12.0%
セグメント利益	799	799	0.0%

② 不動産関連事業

中古マンションの買取再販を行う㈱マイブレイスは、営業人員の拡大と仲介会社との連携強化を通じ、首都圏エリア（東京・神奈川・千葉・埼玉）における取引拡大に努めています。また、6月に新たに近畿圏エリアを担当する大阪営業部を設け取引を拡大しております。

当中間連結会計期間においては、仕入戸数は422戸（前年同期は340戸）、販売戸数は411戸（同321戸）の取引実績となりました。また、リノベーションの設計・施工を手掛ける㈱パウテックグループにおいては、完工数が540戸（前年同期は443戸）と安定して推移しました。

高齢者施設開発を手掛けるEWアセットマネジメント㈱において、3月に東京都杉並区に建設した「NEXT-LD新高円寺」がオープンしております。また、9月に熊本県熊本市において建設した「メディケア癒やし長嶺」がオープンしました。これにより、9月末現在で稼働中の施設は3件、開発中の施設は1件となります。

業績面では、中古マンションの再販において販売戸数が増加したことで営業収益は増収となりました。また、セグメント利益においても、戸当たり利益が増加したことで、前期に計上した高齢者施設の売却益を除くと増益となりました。

(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	増減率
営業収益	14,743	18,257	23.8%
セグメント利益	1,175	1,158	△1.5%

また、2025年3月期の通期連結業績予想に対する進捗は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 通期連結業績予想	進捗率
営業収益	25,730	52,000	49.5%
営業利益	1,491	4,100	36.4%
経常利益	1,470	4,200	35.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	990	2,600	38.1%

(補足情報)

I. あかつき証券㈱、ジャパンウェルスアドバイザーズ㈱、トレード・サイエンス㈱

あかつき証券㈱は、リテール営業に加え、戦略的に金融商品仲介ビジネス（以下「IFAビジネス」）の強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券㈱に同子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱及びトレード・サイエンス㈱を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

(単位：百万円)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
営業収益	3,155	3,633	3,530	4,161	4,104	3,509	—	—
営業利益	373	407	393	496	505	288	—	—
経常利益	450	513	473	610	616	397	—	—
当期純利益	305	357	297	410	413	366	—	—

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	446,635	466,990	487,831	557,641	611,790	589,795	—	—
(うちIFA)	245,670	262,513	280,585	313,897	351,543	350,319	—	—

(注) あかつき証券㈱とジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

(c) 契約外務員数

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約外務員数	1,463	1,528	1,587	1,678	1,767	1,844	—	—

II. ㈱マイプレイス、㈱パウテックグループ、㈱マイプランナー

㈱マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏及び大阪府を中心とした近畿圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っております。①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、㈱パウテックグループは、㈱マイプレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しております。なお、以下は㈱マイプレイス、㈱パウテックグループ及び㈱マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものであります。

(a) 経営成績(四半期会計期間毎)

(単位:百万円)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
売上高	5,432	7,516	8,662	8,052	7,954	9,948	—	—
営業利益	381	469	669	606	570	759	—	—
経常利益	557	417	660	587	493	678	—	—
当期純利益	347	311	446	399	362	461	—	—

(b) 中古マンションの仕入状況(四半期会計期間毎。カッコ内は前年同期会計期間との増減。)

(単位:戸)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
タイプA	134 (△10)	171 (△3)	202 (+63)	191 (+37)	198 (+64)	200 (+29)	—	—
タイプB	15 (+0)	20 (△2)	9 (△8)	23 (△6)	6 (△9)	18 (△2)	—	—
合計	149 (△10)	191 (△5)	211 (+55)	214 (+31)	204 (+55)	218 (+27)	—	—

(c) 中古マンションの販売状況(四半期会計期間毎。カッコ内は前年同期会計期間との増減。)

(単位:戸)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
販売戸数	134 (+7)	187 (+39)	213 (+29)	194 (+21)	183 (+49)	228 (+41)	—	—

(d) 中古マンションの在庫状況(四半期会計期間末)

(単位:戸)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	411	429	447	473	503	508	—	—
タイプB	450	436	416	410	401	386	—	—
合計	861	865	863	883	904	894	—	—

(e) ㈱パウテックグループによるリノベーション完工数(四半期会計期間毎)

(単位:戸)

	2024年3月期				2025年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
㈱マイプレイス向け	157	195	196	173	218	204	—	—
外販	40	51	42	39	49	69	—	—
合計	197	246	238	212	267	273	—	—

(注) 外販とは、外部の買取再販業者向けの設計・施工サービスとなります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ530百万円減少し、91,600百万円となりました。これは主に、預託金が3,200百万円、現金及び預金が2,571百万円減少し、販売用不動産が4,374百万円、差入保証金が866百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,389百万円減少し、73,991百万円となりました。これは主に、短期借入金が4,058百万円減少し、ノンリコース長期借入金が1,710百万円、預り金が601百万円、1年内返済予定の長期借入金が476百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ859百万円増加し、17,608百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ2,571百万円減少し、19,664百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは264百万円の支出(前年同期は1,758百万円の収入)となりました。主な資金支出要因は、販売用不動産の増減額△4,374百万円の計上したことでありま。また、主な資金獲得要因は、預託金の増減額3,200百万円計上したことでありま。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは256百万円の支出(前年同期は268百万円の支出)となりました。主な資金支出要因は、貸付による支出を123百万円、投資有価証券の取得による支出を121百万円計上したことでありま。また、主な資金獲得要因は、投資有価証券の売却による収入を60百万円計上したことでありま。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,051百万円の支出(前年同期は5,132百万円の収入)となりました。主な資金支出要因は、短期借入金の純増減額△4,058百万円、長期借入金の返済による支出を771百万円計上したことでありま。また、主な資金獲得要因は、長期借入による収入を1,671百万円、ノンリコース長期借入れによる収入を1,750百万円計上したことありま。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,016,490	20,445,294
預託金	24,500,000	21,300,000
トレーディング商品	195,129	314,465
約定見返勘定	1,201,346	678,793
信用取引資産	4,218,658	4,444,321
信用取引貸付金	3,969,879	4,326,048
信用取引借証券担保金	248,778	118,272
差入保証金	747,489	1,613,772
販売用不動産	28,746,214	33,120,659
その他	2,090,031	2,412,856
流動資産計	84,715,360	84,330,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	534,972	536,016
土地	169,201	169,201
その他	163,324	159,676
有形固定資産合計	867,497	864,894
無形固定資産		
のれん	914,723	807,108
その他	391,281	402,297
無形固定資産合計	1,306,004	1,209,405
投資その他の資産		
投資有価証券	3,973,482	3,972,138
その他	1,459,997	1,415,061
貸倒引当金	△191,582	△191,244
投資その他の資産合計	5,241,897	5,195,955
固定資産計	7,415,400	7,270,255
資産合計	92,130,760	91,600,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	—	101,369
信用取引負債	1,450,054	1,295,279
信用取引借入金	1,058,948	1,094,262
信用取引貸証券受入金	391,106	201,017
預り金	25,279,828	25,881,464
受入保証金	936,639	899,860
短期社債	7,000,000	7,000,000
短期借入金	25,620,650	21,562,226
1年内返済予定の長期借入金	1,497,826	1,973,918
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	20,000	50,000
未払法人税等	1,090,231	629,245
その他	2,876,707	2,841,782
流動負債計	65,771,938	62,235,148
固定負債		
長期借入金	6,495,576	6,919,215
ノンリコース長期借入金	945,000	2,655,000
退職給付に係る負債	244,879	236,009
役員株式給付引当金	1,129,161	1,118,074
その他	743,691	777,388
固定負債計	9,558,309	11,705,687
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	50,908	50,908
特別法上の準備金計	50,908	50,908
負債合計	75,381,156	73,991,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,121,423	3,149,146
利益剰余金	8,618,799	9,218,819
自己株式	△1,369,804	△1,495,599
株主資本合計	16,035,870	16,537,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,385	98,011
その他の包括利益累計額合計	100,385	98,011
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	603,818	963,313
純資産合計	16,749,604	17,608,674
負債・純資産合計	92,130,760	91,600,418

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収益		
受入手数料	2,739,209	3,079,518
トレーディング損益	3,849,011	4,322,193
金融収益	60,624	71,936
不動産事業売上高	14,743,299	18,257,123
営業収益計	21,392,144	25,730,771
金融費用	47,476	35,202
売上原価		
不動産事業売上原価	12,106,772	15,363,361
売上原価合計	12,106,772	15,363,361
純営業収益	9,237,896	10,332,207
販売費及び一般管理費		
取引関係費	3,682,827	4,226,159
人件費	2,163,204	2,456,181
不動産関係費	201,186	208,671
事務費	396,227	401,255
減価償却費	77,701	86,139
租税公課	201,294	242,337
販売手数料	299,119	411,837
のれん償却額	107,614	107,614
その他	597,573	700,672
販売費及び一般管理費合計	7,726,750	8,840,869
営業利益	1,511,145	1,491,338
営業外収益		
受取利息	170,602	235,644
受取配当金	38,600	45,223
投資事業組合運用益	341,566	1,925
不動産取得税還付金	32,439	43,424
その他	36,168	24,012
営業外収益合計	619,377	350,230
営業外費用		
支払利息	214,464	249,853
支払手数料	45,331	97,575
その他	19,217	23,249
営業外費用合計	279,013	370,678
経常利益	1,851,509	1,470,890
特別利益		
固定資産売却益	—	172
特別利益合計	—	172
特別損失		
固定資産除却損	3,490	468
関係会社株式評価損	14,243	—
特別損失合計	17,734	468
税金等調整前中間純利益	1,833,775	1,470,594
法人税、住民税及び事業税	676,652	520,177
法人税等調整額	△85,465	△39,922
法人税等合計	591,187	480,255
中間純利益	1,242,587	990,338
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	291	△176
親会社株主に帰属する中間純利益	1,242,296	990,514

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,242,587	990,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,940	△2,373
持分法適用会社に対する持分相当額	△12,343	—
その他の包括利益合計	3,596	△2,373
中間包括利益	1,246,184	987,965
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,245,892	988,141
非支配株主に係る中間包括利益	291	△176

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,833,775	1,470,594
減価償却費	88,801	101,339
のれん償却額	107,614	107,614
賞与引当金の増減額 (△は減少)	80,482	25,961
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,827	△11,087
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,445	△8,870
固定資産売却損益 (△は益)	—	△172
受取利息及び受取配当金	△209,203	△280,868
支払利息	214,464	249,853
預託金の増減額 (△は増加)	△4,262,340	3,200,000
トレーディング商品の増減額	135,436	△17,966
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△438,541	△4,374,444
約定見返勘定の増減額 (△は増加)	△628,932	522,552
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	△1,352,888	△380,437
立替金及び預り金の増減額	5,814,973	588,348
その他	634,226	△476,579
小計	2,020,487	715,839
利息及び配当金の受取額	173,000	266,572
利息の支払額	△238,343	△278,818
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△196,527	△967,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,758,617	△264,237
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△411,878	△380,375
定期預金の払戻による収入	411,873	380,370
有形固定資産の取得による支出	△8,170	△56,948
有形固定資産の売却による収入	521	192
無形固定資産の取得による支出	△30,334	△50,453
投資有価証券の取得による支出	△307,200	△121,234
投資有価証券の売却による収入	26,000	60,776
投資有価証券の償還による収入	19,694	44,636
貸付けによる支出	△47,920	△123,876
貸付金の回収による収入	17,873	9,386
その他	60,794	△18,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,745	△256,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,006,527	△4,058,424
長期借入れによる収入	1,265,300	1,671,506
長期借入金の返済による支出	△932,882	△771,774
ノンリコース長期借入れによる収入	—	1,750,000
ノンリコース長期借入金の返済による支出	△710,660	△10,000
社債の発行による収入	4,997,140	4,997,680
社債の償還による支出	△5,000,000	△5,000,000
非支配株主からの払込みによる収入	283,000	—
自己株式の取得による支出	△200,230	△229,390
配当金の支払額	△322,610	△390,495
非支配株主への配当金の支払額	△245,382	—
その他	△7,690	△10,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,132,509	△2,051,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,622,380	△2,571,885
現金及び現金同等物の期首残高	11,406,380	22,235,906
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,028,760	19,664,021

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取り扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	6,648,845	14,743,299	21,392,144	—	21,392,144
セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	159,583	633	160,216	△160,216	—
計	6,808,429	14,743,932	21,552,361	△160,216	21,392,144
セグメント利益	799,593	1,175,694	1,975,287	△464,141	1,511,145

(注) 1. セグメント利益の調整額△464,141千円には、セグメント間取引消去△159,583千円、全社費用△304,558千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に、当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	7,473,648	18,257,123	25,730,771	—	25,730,771
セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	151,520	612	152,132	△152,132	—
計	7,625,168	18,257,736	25,882,904	△152,132	25,730,771
セグメント利益	799,885	1,158,044	1,957,929	△466,591	1,491,338

(注) 1. セグメント利益の調整額△466,591千円には、セグメント間取引消去△151,520千円、全社費用△315,071千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に、当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。